

平成31年度 水力発電の導入促進のための事業費補助金（水力発電事業性評価等支援事業） ＜②地方公共団体が行う水力発電事業性評価・公募事業＞

1 補助対象事業

地方公共団体が行う地域の水力発電有望地点の調査・設計等及び当該地点で開発又はコンセッション方式によるPFI事業で発電を行う者の公募に要する経費のうち公募用資料作成に係るものを補助します。

対象事業：新設及びリプレイスする水力発電所
発電出力：20kW以上10,000kW以下を見込むもの

2 補助対象事業者

地域における中小水力発電の有望地点を調査し、開発又はコンセッション方式によるPFI事業で発電を行う者を公募する地方公共団体

(*)当該補助事業で調査・設計等した有望地点は、発電を行う者の公募（採択まで）を必ず実施してください。

3 補助対象経費

水力発電有望地点（※1）の調査・設計等（※2）及び当該地点で開発又はコンセッション方式によるPFI事業で発電を行う者の公募に要する経費のうち公募用資料作成に係るもの

※1…調査・設計等する水力発電有望地点：都道府県は2地点以上、それ以外は1地点以上
※2…地質調査、地形測量、流量調査、河川維持流量調査、社会環境調査、基本設計等

4 補助率

補助対象経費に対して定額（10/10）
ただし、1申請あたりの補助金の上限額は、原則として5,000万円/年とし、かつ、1発電所当たりの補助金の上限額は1,000万円/年とします。

5 事業期間

交付決定日～令和2年2月28日まで
事業の実施上、単年度では事業完了が不可能であると確認できる事業については、原則、最長令和2年度まで複数年度事業（発電を行う者の公募を必ず実施すること）として申請ができます。
なお、最終年度までに発電を行う者の公募まで必ず実施すること。

6 公募スケジュール等

公募期間 平成31年4月18日（木）～ 令和元年6月28日（金）

公募開始4/18 一次締切 5月21日（火） 二次締切 6月28日（金）

- ・交付申請書は、上記公募期間において随時受付をします。
ただし、一次締切時点において予算額を超える申請があった場合は、公募期間中であっても公募を終了します。
- ・公募期間中に締切を2回設け、各締切毎に審査及び交付決定を行います。
（締切から約1ヶ月後に交付決定を行う予定です。）

注意事項：交付決定日以降に初めて補助事業の開始（発注、契約）が可能となります。

事例紹介

黒石市

事業名 中野川水系砂防堰堤を利用した小水力発電事業性評価・発電事業者公募事業

事業の目的 黒石市では、第二次黒石市環境基本計画（平成26年3月）において、施策の柱として再生可能エネルギーの導入を進めることとしており、市内の中野川水系に設置された砂防堰堤2箇所において、水力発電設備の設置をめざし、水力発電の事業性評価を行うとともに、実施事業者の公募を行う。

調査地点の設備概要

＜黒石市大川原字菟窟地先＞	＜黒石市大川原字烏沢＞
発電形式：水路式	発電形式：水路式
使用水量：0.99m ³ /s	使用水量：0.81m ³ /s
有効落差：6.0m	有効落差：8.93m
出力：26kW	出力：50kW



流速観測（菟窟地点） 計画図（菟窟地点：平面図）

調査概要（平成30年度）

- ① 現地調査
水位自動観測計による水位観測および流速計による流量観測を行なった。
あわせて設備配置や導水路のルート、構造等を決定するための現地確認を行った。
- ② 概略設計
主要構造物の概略設計、計画図の作成、概略施工計画の検討、概算工事費の算定を行った。

郡上市

事業名 郡上市小水力発電事業性評価調査・事業者公募

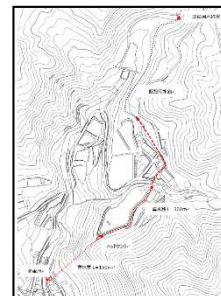
事業の目的 郡上市において「持続可能な循環型社会の構築」と「次世代につながる地域づくり」を実現するため、小水力発電事業の候補地点2地点における事業性を評価し、民間事業者を公募する。

調査地点の設備概要

＜郡上市高鷲町大鷲＞	＜郡上市明宝気良＞	
（高圧連系）	（低圧連系）	
発電形式：水路式	水路式	発電型式：水路式
使用水量：1.91m ³ /s	0.93m ³ /s	使用水量：0.12m ³ /s
有効落差：8.50m	8.50m	有効落差：55.4m
出力：135.2kW	49.9kW	出力：49.9kW



＜流量測定写真（大鷲）＞



調査概要（平成30年度）

- ① 流量調査 当該取水河川長良川、宮原川において水位計設置、流量調査を行った。
- ② 概略設計 流量観測データ、現地測量、既存資料等により、発電可能流量、発電可能出力の推計を行い、施設配置、施設検討により事業費の算出を行った。
- ③ 事業性評価 経済性、法規制等の関係法令、有識者・関係者による検討委員会の意見を踏まえ事業性評価を行った。

福岡県広川町

事業名 筑後川水系広川における事業性評価調査・事業者公募

事業の目的 広川町の山間部を抱える上広川地区の振興を図り、再生可能エネルギーの活用を目指すため検討したところ、同地区3か所について水力発電の導入の可能性が考えられるため、本事業において小水力発電の事業性評価を行うとともに事業者の公募を行う。

調査地点の設備概要

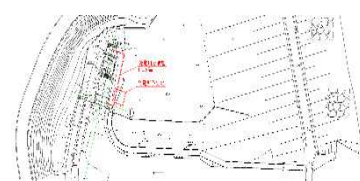
＜ダム上流地区＞	＜ダム放流口地区＞	＜梯地区＞
発電形式：水路式	発電形式：ダム式	発電形式：水路式
使用水量：0.35m ³ /s	使用水量：0.44m ³ /s	使用水量：0.57m ³ /s
有効落差：18.90m	有効落差：16.20m	有効落差：12.60m
出力：45kW	出力：49kW	出力：49kW



流量調査（ダム上流地区）

事業実施概要

- ① 流量調査：水位計設置、流量調査を行った。
- ② 地形測量：現地地形等の測量を行った。
- ③ 地質調査：地質調査（スウェーデン式サウンディング）を行った。
- ④ 概略設計：流量調査結果等を用いて流況解析し、発電所や水路等の配置計画を行った。
- ⑤ 概略可能性検討：発電量を推定し、現時点での採算性を検討した。



計画平面図（ダム放流口地区）